

介護保険推進協議会に提言し高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画へ反映した
地域課題に対する取り組み状況

個別地域ケア会議にて事例検討を重ねた結果から見えてきた共通の地域課題について、介護保険推進協議会に提言し計画に反映した内容に対する取り組み状況。

共通課題	不足している社会資源	前回(H31.3.18)までの取組	前回からの今回までの取組
認知症関連 認知症の方が在宅生活を継続するための課題	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に適切な医療につなぐ体制 (認知症の鑑別診断を実施できる医療機関、在宅でBPSDコントロールできる体制、認知症支援者ネットワークなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期相談窓口の設置 (平成30年4月1日) ・認知症地域支援推進員の設置 (平成30年4月1日) 担当保健師を配置し取り組みを開始。今後、認知症初期相談窓口における相談内容の分析、課題の洗い出し、地域資源の把握及び不足資源の開発等に取り組む。平成30年度の取り組み状況として、市内3ヶ所目となる認知症カフェの新規立ち上げ(市役所内喫茶森)及び運営の支援。 	※詳細別紙1「昭島市認知症初期相談窓口・認知症初期集中支援チーム活動実績」
	考えられる支援内容		
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チームの活用 ・認知症地域支援推進員の活用 		
	不足している社会資源	前回までの取組	前回からの取組
	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ支援(ゴミだし支援、定期巡回訪問、夜間の見守りなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ支援(ゴミだし支援)の実現性の調査 ゴミだし支援については、認知症の方のみならず高齢者全体の地域共通課題として取り組むこととして調査・検討を開始。 ・都営中神第3アパートをモデル地区として選定し、自治会長、住民に対して調査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都営中神第3アパートについて、R1年度に自治会長が変更。新会長と顔の見える関係を築き引き続き自治会役員とも協議を進めている。 ・モデル地区として田中町住宅にて65歳以上を対象にアンケート方式の実態調査を実施
	考えられる支援内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 		※詳細別紙2「田中町住宅モデル地区実態調査」 ※参考資料「田中町住宅高齢者生活実態調査」「田中町住宅高齢者生活実態調査 結果」	

共通課題	不足している社会資源	前回までの取組	前回からの今回までの取組
認知症関連 認知症の方が在宅生活を継続するための課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者本人や介護者の居場所作り（認知症カフェ、認知症ケアの仕方等の研修、認知症の理解の普及） 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ開設の推進 H27.8 オレンジドアあきしま開設 H30.3 さくらカフェ開設 H30.11 喫茶森 認知症カフェ開設 H31.1 だ・ん・ち・で・カフェ開設 <p>(市内4ヶ所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町田市内のスターバックスコーヒーで開催されている認知症カフェを視察。スターバックスコーヒー昭島モリタウン店での認知症カフェ開催に向けスターバックス本部へ交渉したが、結果としてスペース確保が困難なため開設は無理であるとのこと。他のコーヒー店での認知症カフェ開催に向け交渉を継続。 <p>※詳細別紙3「昭島市認知症月間イベントカレンダー」</p>
	考えられる支援内容		
	不足している社会資源	前回までの取組	前回からの今回までの取組
	<ul style="list-style-type: none"> 徘徊している方を早期発見する仕組み作り 認知症の正しい理解と地域における見守り支援 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座 H19～29年度の実績合計:186回開催、5,891人受講。 	<ul style="list-style-type: none"> H30年度実績： 26回開催、1,184人受講。 R元年度実績（8月末現在）： 10回開催、307人受講。
	考えられる支援内容 <ul style="list-style-type: none"> (認知症サポーターに登録制を含めた)新しい情報提供システムを検討 既存サービス(徘徊探索)の周知、活用 市内全域での認知症サポーター養成講座の拡充 		
移送関連 移送の課題	不足している社会資源	前回までの取組	前回からの今回までの取組
	<ul style="list-style-type: none"> サロン、体操教室、銭湯などへの外出時の交通手段 介護施設・病院への移送、施設内での移動支援 外出時のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 移送サービスにおける現状把握と調査・検討 東部地域連絡会にて検討し、資源マップを作成 	<ul style="list-style-type: none"> R2年度中にAバスを1台増車する予定。路線は検討中 西部地域連絡会にて検討し、田中町住宅をモデル地区として実態調査を実施
	考えられる支援内容 <ul style="list-style-type: none"> Aバスのルートの大拡充等、公共交通機関の充実 院内介助のある病院の情報提供と働きかけ ボランティアの活用 		<p>※詳細別紙2「田中町住宅モデル地区実態調査」</p> <p>※参考資料「田中町住宅高齢者生活実態調査」「田中町住宅高齢者生活実態調査結果」</p>

共通課題	不足している社会資源	前回までの取組	前回からの今回までの取組
【活動の場の充実】 市民が活動できる場の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの充実 (理学療法士がいて運動できるサロン、保健師や栄養士などがいて専門的な支援が受けられるサロンなど) ・ボランティアとしての活動の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーション活動支援事業の実施 H30.6より、主に65歳以上のメンバーで構成されているサロン実施団体などを対象に専門職(作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、保健師、看護師、栄養士等)を無料で派遣。 派遣時間は1時間程度/回。 派遣回数は2回程度/年。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度実績：14団体。派遣職種：作業療法士4回、理学療法士7回、看護師1回、言語聴覚士1回、薬剤師1回。 ・R元年度実績(9月末現在)：11団体。派遣職種：作業療法士2回、理学療法士4回、看護師2回、言語聴覚士1回、管理栄養士1回、薬剤師1回 ・R1.6.20昭島リハビリテーション委員会研修にて地域リハビリテーション活動支援事業の事業説明、実施状況にて普及啓発。 ・サロンの立ち上げ支援 R1.10.1現在82サロン。 H31.3.7サロン運営者向け講座(チラシ作り講座)を開催、10名参加。 H31.3.29サロン開始者向け講座(地域の居場所づくり講座)を開催、14名参加。 ※詳細別紙4「サロン設置状況」
【男性高齢者の課題】 男性高齢者(介護者)の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男性高齢者(介護者)の集いの場 (男性介護者に対する、料理教室や介護の知識など気軽に学び情報交換のできる場所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性高齢者(介護者)の集いの場の開設。介護を終え、深い悲しみから立ち直るためのグリーフケアを必要とする方が集える場 	<ul style="list-style-type: none"> ・H31.3.12「グリーフと向き合うつどい」を開催。妻を亡くされた男性介護者が5名参加。

※BPSD・・・認知症の行動・心理症状(Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)

行動症状とは、暴力、暴言、徘徊、拒絶、不潔行為等、心理症状とは、抑うつ、不安、幻覚、妄想、睡眠障害等
 認知症初期集中支援チーム・・・複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を集中的(おおむね6ヶ月)に行い、自立生活のサポートをするチーム
 認知症ケアパス・・・認知症の地域ケアを実現するために、行政の役割、医療と介護の連携など、地域における資源を整理し、時間軸によって、利用できるサービスの明確化などについて取りまとめること。また、その内容を掲載したガイドブック。
 サロン・・・高齢者をはじめ地域の誰もが気軽に立ち寄って、お茶を飲んだり食事をしたり、趣味の活動をしたり、体操やゲーム・スポーツなど健康作りを行うなど、様々な活動を行う集まり・居場所。